

# 愛知県安城市における 高齢者向け住宅改修の取り組み (リフォームヘルパー)

日本福祉大学  
岡部真智子



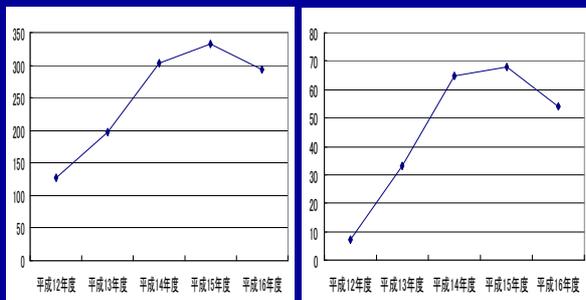
## 安城市の概要

- 安城市は、名古屋市から30kmの距離にあり、人口170,237人(平成17年国勢調査)、高齢化率13.7%(平成17年7月1日現在)の農・工・商業のバランスのとれたまちである。
- 65歳以上の親族がいる世帯の持ち家率は88.6%と9割近い。(平成12年国勢調査)

## 安城市の高齢者向け住宅改修制度

- 介護保険制度
- 人にやさしい住宅リフォーム費助成事業
  - 対象: 65歳以上の要援護高齢者
  - 助成金: 10万円
  - 特徴: 1割負担や所得に応じた自己負担なし  
リフォームヘルパー利用義務

## 住宅改修件数



介護保険利用の住宅改修件数

助成利用の住宅改修件数 5

## リフォームヘルパー事業

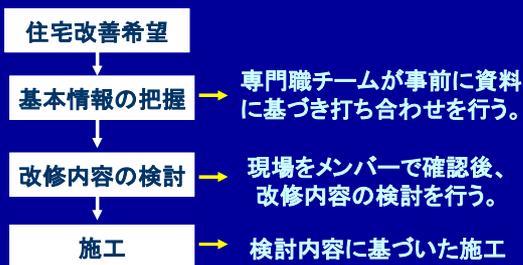
- 平成7年開始
- 愛知県下では犬山市について二番目に始まる。
- 当時市内唯一だった在宅介護支援センターに、委託される。
- 派遣対象は「人にやさしい住宅リフォーム費助成事業」を利用する要援護高齢者と住宅改修を希望する心身障害者(児)。
- 住宅改修に関する相談・助言が行われる。(施工後の完了確認までは行っていない)

## メンバーの構成・役割

	職種	所属	役割
福祉①	社会福祉士、 介護福祉士	在宅介護支 援センター	連絡調整、事務手続き、進 行役、事前訪問※
福祉②	介護福祉士	社会福祉協 議会	身体・生活状況の把握 工事内容の助言、確認
保健・ 医療	理学療法士	老人保健施 設	身体・生活状況の把握 介護方法の指導
建築	建築士、 設計士	建築士会	工事内容の助言・確認、 改修提案図面の作成、 見積金額妥当性の検討
行政	行政職員 (保健師資格有)	高齢福祉係	工事内容の確認 リフォームヘルパーの送迎



## 住宅改修の流れ



9

## 多様な専門職がチームで支援することにより得られる効果

- 1. 対象者の情報と住宅改修のねらいが事前の打ち合わせにより、客観的に把握される。
- 2. ケースによって、異なるキーパーソンが柔軟に対応することで、専門性をいかした住宅改修が行われる。

10

## ケースによってキーパーソンが柔軟に対応

事例1	相談日に本人の動きを確認したことで、社会福祉士が新たな手すり設置を提案。
事例2	PTが車椅子への移乗方法を家族に説明。福祉用具業者が車椅子の提案を行う。
事例3	相談日の後に、建築士、施工業者、社会福祉士が改めて現地訪問を行い、工事内容を決定。
事例4	ケアマネジャーが透析後の身体状態を説明し、改修箇所を指摘。
事例5	家屋に対する家族の想いを介護福祉士が代弁。施工業者がQOL向上に結びつく改修箇所を指摘。

## 安城市高齢者向け住宅改修の問題点と今後

- 改修後の改修内容確認は義務化されていない
- 助成金利用のためのリフォームヘルパー
- 介護保険改正により影響を受ける可能性 (リフォームヘルパー事業委託先の分散化)

12